

○対称な図形 ～多角形と対称～ 第9時 教科書P.19 (解答編)

学習を始める前の準備と注意です。

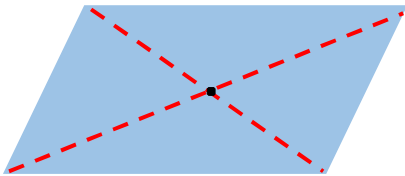
- ・三角定規、ものさしを使います。準備しておきましょう。
- ・教科書P.19の学習です。教科書を見なくても、このプリントで学習できます。

ここから学習スタート！ では、問題です。

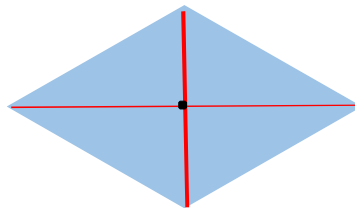
- ① これまでに学習した多角形について、線対称な図形か、点対称な図形か調べましょう。

ここまでの学習を生かして、下の四角形について調べ、表にまとめよう。

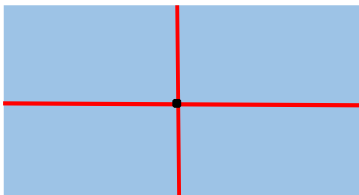
- (1) それぞれの図形に、対称の軸や対称の中心があれば、すべて書き込もう。



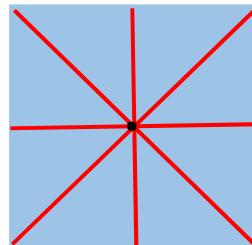
平行四辺形



ひし形



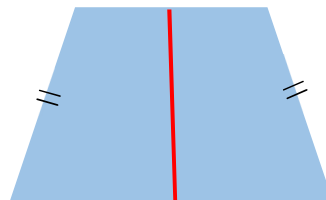
長方形



正方形



台形②



等脚台形①
とうきやくだいけい

(2) (1)で調べたことから、表中の平行四辺形の例を参考にして、それぞれの四角形の特徴についてあてはまる記号や数を記入しよう。

	線対称	対称の軸の数	点対称
平行四辺形	×	0	○
ひし形	○	2	○
長方形	○	2	○
正方形	○	4	○
台形㊲	×	0	×
等脚台形㊱	○	1	×

(3) (1)の図や、(2)の表を見て、気付いたことをか条書きで書こう。

(例)

- ひし形は、2本の対角線が対称の軸になっている。
- 長方形は、辺の真ん中を通る直線が対称の軸になっている。
- 正方形の対称の軸は、対角線と、辺の真ん中を通る直線の両方が対称の軸になっている。
- ㊲の台形は、線対称な図形でも、点対称な図形でもない。
- ㊱の等脚台形は、線対称な図形。対称の軸は1本。上底と下底のそれぞれの真ん中を通る直線が、対称の軸になっている。点対称ではない。